

わずか2カ月で

定期テストを**200点**アップさせる方法!!

日吉 大雄

はじめに

お子様の人生を大きく輝かせる、そんな出会いになるはずです。

成長期・思春期の子どもたちは、反抗期に入り、対応が難しいというイメージがあります。この本を手にとられた方の中にも、今まさにそのことでお悩みの方もいらっしゃると思います。確かに親にとつては、巢立とうとしている子どもをどう扱えばいいのかは悩みの種かもしれません。

しかし一方で、この時期の子どもたちは心身共に最も成長する時期でもあります。ですから、夢や目標が明確になれば、驚異的なスピードで大人の想像をはるかに超えた進化を遂げていく、親にとつてもワクワクする時期でもあるのです。

だからこそ、プラスの影響を与えてくれるような、良い先生や友人との出会いがとても大切なのです。その一つひとつの出会いが人生を左右する可能性を持っています。

特に、自由に選択できる塾や家庭教師などプライベートスクールで出会う先生は重要に思えます。

塾講師として30年、教育現場に立ち続け、集団授業から個別指導、入塾面談や保護者面談・保護者会などのイベント、そして進路指導とあらゆる業務を経験してきました。また、教科の責任者として、カリキュラムや教材の作成・講師の授業研修・保護者対応の研修なども担当してきました。

30年間で関わった生徒数は2000名以上、時代の流れと共に変化を求められる塾業界で30年間先頭を走り続けられたことに誇りを持っております。

さて、この本をお読みの皆さんには「進路設計相談士」という言葉は、耳慣れない新しい言葉ではないかと思えます。30年間続けた塾講師を卒業し、塾時代に培った経験とノウハウを生かし、塾の枠を超えた幅広い教育活動をスタートさせた際、何かピツタリと当てはまる言葉はないかと考えていました。そんな折、縁あって知り合ったアドバンスの田口代表より「進路設計相談士」という言葉をご提案していただきました。私が考えていた教師などの枠には収まらない幅広い教育活動をピツタリと言い表していると思います、「進路設計相談士」という言葉を使うことになりました。

進路設計相談士とは、勉強を通じて生徒に目標や希望を持たせ、その方法論を組み立て、生徒がそれを実践していく際にサポート役を担当する。サポートの意味は、本人が自発的に勉強に向き合い、自力で問題を解けるように導くことです。情熱があったからたまたま自然発生的に、結果的にそうなったの

ではなく、あくまでも意図的に、計画的にそこまで導くことができる。これが、「進路設計相談士」の仕事です。どんなタイプの生徒に対しても、成果をあげることができ、技術を持っているプロの教師を「進路設計相談士」と定義しています。

現在、進路設計相談士として、「不登校生や塾に入れない学力レベルの子どもたちへの学習指導と進路設計」「保護者の方のさまざまな悩み〜子どもの学習や受験・成績・進路・不登校、思春期の子どもへの接し方など」をお伺いし、最も良い選択・解決法・対処法をアドバイスする教育コンサルタント」「大学生や社会人を対象にしたパーソナルブランディング」など、さまざまな教育活動をしています。

本書では、これらの経験とノウハウを基に、適切で即効性のある実行可能な情報や指導法、さらに指導例などを紹介しています。

本書が、お子様の教育や進路に関するお悩みをお持ちである保護者の皆様の一助に、また、教育関係の仕事に就かれている方の参考書として、そして教師を目指されている方のバイブルになれば幸いです。